



2014年9月4日 第2552回例会 週報2345号

# 富田林ロータリークラブ

RIテーマ「ロータリーに輝きを」

◆会長：豊岡 敬 ◆幹事：橋本竜也 ◆会報委員会：北岡 満

◆創立：1962年6月6日 ◆例会日：毎週木曜日12:30-13:30

◆例会場：富田林市民会館（富田林市粟ヶ池町2969-5）

◆事務局：富田林商工会館2階（富田林市粟ヶ池町2969-5）  
（月・火・木・金10時～16時）

<Tel> 0721-26-0133 <Fax> 0721-26-0443

<E-mail> kikusui@abeam.ocn.ne.jp

<URL> <http://tondabayashi-rc.org/>



## 本日のプログラム

- 今週の歌；「君が代」「奉仕の理想」
- 卓話：パストガバナー 北中登一様

## 出席報告

例会日	会員数	出席者	MU	出席率
8/28	38(7)	20(3)	0	58.82%
8/21	38(7)	14(0)	0	45.16%
8/7	38(7)	26(3)	0	76.47%

( )内は出席免除会員

## 今週の歌

### 奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ  
御国に捧げん我等の業  
望むは世界の久遠の平和  
めぐる歯車いや輝きて永久に栄えよ  
我等のロータリー ロータリー

### ビジター・ゲスト歓迎の歌

Welcome to our club meeting  
Welcome our many wonderful friends  
今日の一時 どうぞごゆっくり

## 今後の予定

- 9月6日(土) 第14回富田林RC旗争奪少年軟式野球大会 開会式
- 9月7日(日) IAC国際交流親睦会
- 全国統一アクトの日
- 9月11日(木) 3分間スピーチ；柳本浩一君 卓話：辰巳泰啓君
- 9月18日(木) 3分間スピーチ；大元 相君 卓話：西澤友成君
- 第3回理事会
- 松原RC50周年・松原中RC25周年 記念ゴルフコンペ
- 9月20日(土) 松原RC創立50周年記念式典（於：ザ・リッツ・カールトン大阪）
- 9月25日(木) 3分間スピーチ；橋本英樹君 卓話：下野純司野君
- 10月2日(木) 卓話：児童養護施設 高鷲学園 里親支援専門相談員 杉元千尋様
- 10月9日(木) 3分間スピーチ；辰巳泰啓君 フォーラム：台中中州RC来日について

★ゲスト

- ・辻 秀和様 ガバナー
- ・中野一郎様 ガバナー補佐
- ・山崎規男様 地区代表幹事
- ・村本陽菜様 2013-2014年度 青少年交換長期派遣学生

委員会報告

●プログラム委員会・・・横山素夫君

- 9月の卓話予定に関して。第1週はパストガバナーの北中氏の卓話です。北中氏の地区の現況に関しての真摯なお話が聞けると思っています。第2週以降、辰巳会員・西澤会員・下野会員と内部卓話の月間にする予定です。よろしくお願いします。
- 10月17日の台中中州 RC の来日に関しては、19人の予定と、上六の都ホテル宿泊が決まっているようです。TRC も早急に対応する必要があります。姉妹クラブ委員長と親睦委員長の連携をお願いします。
- 10月23日には長浜ドームの環境展を見学に行きます。藤野興業の出展見学会と職業奉仕のイベントを兼ねていますので、多数の出席を期待しています。移動例会の予定です。

●2013-2014年度 青少年交換学生長期派遣学生 村本陽菜さん 帰国報告

こんにちは。2013年-2014年度長期派遣させていただいていた、富田林高校の村本陽菜です。

この帰国報告をさせていただくのが遅くなってしまい、大変申し訳ございません。この度、このように報告をさせていただく機会を与えて頂いたのですが、時間がとても限られておりますので、私がこの一年間で経験したことよりも、思ったことや感じたこと、そして自分なりに成長したなどと思うことについてお話しさせていただきます。



まず、生徒の方々が留学をしたいとする動機として、すごく頻繁に述べられると思うのですが、「違った文化に触れてみる。」ということは、私は凄く難しいことであるんだなと実感させられました。文化がちがうから、外国の方の行動が時々信じれなかったり、時にはそのことが留学生をホームシックに追いやる原因になってしまうのです。留学の根本的な、最も難しい点は、ここなのではないのかと、身をもって実感しました。というのは、私自身、学校が始まってしばらくの間、理解できることが少ない中、周りの人たちの反応は、自分が想像していた温かいものではなく、冷たいもので、正直辛い時期もたくさんありました。

また、一年間アメリカという異国の地で過ごし、いざ帰国してみると、アメリカでは普通だったのに、日本では無礼にあたってしまうこともあり、いわゆる逆カルチャーショックを感じさせられる瞬間も多々ありました。それを面白いと捉える人、大変だと捉える人、様々な考え方がありますが、少なくとも私は大変だなど感じた部分でした。

そして二つ目は、何より周りの人たちへの感謝の気持ちです。「失くしてみないと分からない

有り難み」という言葉をよく使いますが、私は「離れてみて」たくさんの大切さに気づくことができました。家族、友達、そしてロータリーの方々。時には周りに恵まれ過ぎていて、たくさんの人に支えてもらっているということを忘れてしまうこともありました。そんな当たり前のことに気づくことができたのも、この留学をしたことのおかげでもあり、周りの人たちを失くしてしまう前に気づけたことが、何よりの私の成長であるなと思います。

英語を学習し、私の目標でもあった、たくさんの外国の方々との意見を言いあったりすることが達成できたと同時に、周りの人と離れてみて、人間として成長できたことでも、留学の意味があったなと感じさせられた一年間でした。

これからの社会で、日本の良さをもっと世界に広められるように英語を操れるようになって、そして周りの人への感謝を常に忘れないことを、これからの目標にしていきたいと思っています。本当に今までありがとうございました。

### 会長の時間・・・豊岡 敬会長

国際ロータリー第 2640 地区ガバナーの辻様、地区代表幹事の山崎様、地区ガバナー補佐の中野様、富田林ロータリークラブにお越し頂き、ありがとうございます。辻ガバナーには、後ほどガバナーアドレスをお願いします。本日は、2013-2014 年度長期派遣学生として、アメリカ合衆国オハイオ州に留学されていた村本陽菜さんに来て頂き、帰国報告をして頂きます。私は、Face-book を通じて現地の様子を知るようにはしておりまして、村本さんも最初ご苦労されていた様子であったり、アメリカの友人と楽しそうにしている様子などを承知しておりました。また、富田林高校から別のプログラムでアメリカに派遣されていた学生さんと動物園で偶然出会われたりして、世界は広いけど、我々は繋がっているのだと改めて感じました。村本さんには、アメリカで出来たご縁も大切にしたいと思っています。

### ニコニコ

- ☺豊岡 敬君 辻 秀和ガバナー、アドレスをありがとうございます
- ☺橋本竜也君 辻ガバナー、山崎地区代表幹事、中野ガバナー補佐、ようこそ  
村本さん、スピーチありがとうございました
- ☺松澤政彦君 辻ガバナー 公式訪問有難うございました
- ☺豊田圭郎君 会員バッジ忘れました

合計 19,000 円

累計 542,000 円

### MAKE UP

★富田林 RAC (8月8日) 瀧君、坂ノ上君

### 9月のお祝い

- 誕生日 上田一男君、下野純司君
- 奥様誕生日 北岡全子(マサコ)様
- 結婚記念日 寺田廣美君
- 職業奉仕記念日 武島孝臣君、橋本竜也君
- 入会記念日 杉多弘至君、小池忠男君、河村義信君、千田佑兵君

## ガバナーアドレス…辻 秀和ガバナー

皆様 こんにちは、本日は、2014 - 2015 年度地区ガバナー公式訪問でございます。先立ちまして、会長 豊岡 敬様、幹事 橋本 竜也様、ガバナー補佐の中野 一郎 様もご同席の上、会長・幹事 懇談会を、なごやかに、かつ有意義に終えました。今回富田林 RC 様を、公式訪問させていただき、このように歓迎をしていただき、大変な名誉でございます。衷心より感謝申し上げます。クラブ会長 豊岡 敬様、はじめ会員皆様には、地区運営にご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。



富田林 RC 様と申せば、1962 年 6 月に、歴史と伝統ある堺 RC をスポンサークラブとして、創立されました。地域社会への奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕にもバランスよく、すばらしい活動を展開されておられます。青少年関係では、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、青少年交換、財団奨学生、さらに米山記念奨学生の世話クラブとしても、素晴らしい活動を展開されておられます。本年度 RI テーマの『ロータリーに輝きを』を、しっかりと実践されておられます。

創立 52 周年を、お迎えになられます大きな節目に、さらに斬新的な、創造性豊かな、独創的活動を、継続されまして、素晴らしいパワーを発揮されることを、御願い申し上げまして、ますますのクラブのご発展をご祈念申し上げます。

### No.2

会長 豊岡 敬様のクラブ方針は、地区目標にも沿っていただき、本当に有難く心より感謝申し上げます。そして以下の 4 点に目標を定められました。

それは；

- + 新世代に重点をおかれて、青少年奉仕を推し進める。
- + クラブ会員親睦を図る。
- + 姉妹クラブ訪日を真心でおもてなしをする。
- + 地区が本来のロータリーに一日も早く戻ること。

そこで地区として、本年度は、先の 4 月 29 日、R I 会長ロン・バートン氏による地区紛糾（ふんきゅう）裁定の継続を、本年度 RI 会長ゲイリー・ホアン氏も認めておられて、私はそれを尊重し、裁定を踏襲（とうしゅう）いたします。すなわち、そこには、“第 2640 地区が、相違を乗り越えて前向きな解決作を見出せるよう、地区リーダーと地区ロータリアンが協力することを改めてお願いいたします。続いて、それには“まずこれまでの紛糾（ふんきゅう）を過去のものと考え始めて、地区を健全な状態に戻し、ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を実現するための、真の奉仕に取り込むことが出来るはずです。”と明記されてあります。それでは今、世界が、日本が、グローバル化し、多様性がすすむ中、当地区内での 考え方、方法論はいろいろでございますが、目指すところはひとつ、地区内の会員皆様が願っておりますとうり、1 日も早く、本来のロータリーを取り戻したいと考えます。

- + 本年度は、今までの紛糾（ふんきゅう）を過去のものとして、すべてを白紙に戻します。

### No.3

- + 地区ガバナーの承認なき文章等の配布は、認めません。
- + クラブ会長は、怪文書等をしっかりと検閲されて、クラブ会員に配布しないようする。

又それとは逆に、

- + 地区ガバナーからの告示等は、各クラブ会長が全会員にいきわたるよう、ご配慮お願いいたします。
- + パストガバナーには、必要な委員会の中で、お役目を御願いたします。
- + 当面は、10月25日、26日の地区大会準備とそこでの決議で地区賦課金のご承認を得ることに、全力で努力いたします。
- + 地区大会は、従来にない手づくりの地区大会をめざして、大会二日目後半は、地元住民も参加頂き、楽しいロータリーデーを同時に開催いたします。(説明)
- + 大会に先立ち、10月20日は、大会記念チャリティーゴルフ大会も行います。(説明)

さて、先日公式訪問いたしました、堺 泉が丘 RC の会長南川正一様は、実は私の大学の先輩でございます。関西のロータリーでは、本当に数少ない卒業生です。私の知る限り、富田林南 RC、堺東南 RC、に各1名程度おられるくらいです。余談ですが、東京農大の当時の校風は、自由奔放で、バンカラで、開拓魂 豊かな精神が残っておりました。その校風で、私も何度も海外に奉仕に飛び出し、ついに JICA の青年海外協力隊で、マレーシア国に、まるまる三ヵ年、飛びました。

### No.4

協力隊員が、世界の僻地で、本当に田舎の集落に入り込んで、農業や衛生の指導をする、つまり 草の根外交の先陣を切っている JICA、青年海外協力隊でございます。

確かに、私が、その国の、その地域に、一人行ったわけではありますが、しかし、その JICA の事業や、派遣する人を、支える人、又 派遣要請して、協力隊員を 迎え入れる国の人々、双方で数え切れないほどの人々に、支えられてこそ、素晴らしい成果が得ることが出来て、本当に何事にも変えがたい、貴重な、体験が、出来たわけであります。まさに、お陰さまで、とても言葉では言い尽くせないほどに、一人海外で、青年期に、貴重な体験を、積む事が出来ました。帰国して、それならば；自身は何を成すべきかが、おのずとわかるはずであります。

- + 自分が変われば、地域社会が変わる、世界が変わる。
- + 自分の体験は、新世代へと、確実に伝えねばならない。

この2点でございます。

世界が、日本社会が、グローバル化しつつ、多くの問題を未解決のままに、大きく転換しようとしています。

そこで若者達は、今、何が出来るのか。世界を変えるには、自分を変えなければなりません。自身変えるために、勇気を持って海外へ、一步を歩みだしましょう。成功するには全く違う言語、文化、社会を経験する必要があります。若いときの、海外での経験は、個人を変えるだけでなく、社会を、世界を、変える可能性があります。

## No.5

“自分を信じれば世界は変えられます。”

ロータリーの留学経験が世界平和のひとつ『鍵』なのです。ロータリーの国際交流活動が世界理解につながります。ロータリーの地域社会での奉仕活動も世界理解につながると考えられます。なぜならば、それはロータリーは、世界 201 カ国に、(34,282 クラブ) 約 120 万人の会員を有する、国際組織だからで、あります。

ロータリーの活動はすべて『世界平和』につながります。

海外で活動をする、国内で活動する、いずれにしても、人と人との交流は、常にそこに、お互いの相違はあるものです。相手を思いやる心、おもてなしの心、が肝心です。今このような、心が一番大切だということが忘れられて、当地区では、なかなか本来のロータリー活動に、戻れない大きな原因のひとつだと考えられます。一番必要なことは、この部分の、相互理解のような気がいたします。

私も、ロータリー入会以来、クラブ活動、地区活動を通じて、海外の青少年や姉妹クラブにおける国際交流活動で、又地域での奉仕活動で、東日本大震災での被災地支援活動で、いずれにおいても、ロータリアンの仲間、ロータリーファミリーや一般の人々と共に、長年にわたり言葉では言い尽くせない、心温まるご支援やご協力を賜りました。

日本の「思いやりの心」や「おもてなし文化」の一つ象徴であります。

## No.6

さらに本年度、RI2640 地区関しましても、ほとんど無条件にて、多くのクラブメンバーの方々には、地区運営の要として、ご協力賜っております。全てに、感謝!! 感謝!! でございます。皆様の絶大なるご協力を、引き続きお願い申し上げます。

**This is Rotary !! This is Rotary !!**

このあと、ガバナーの責務でございます、国際協議会のご報告をさせていただきます。

